

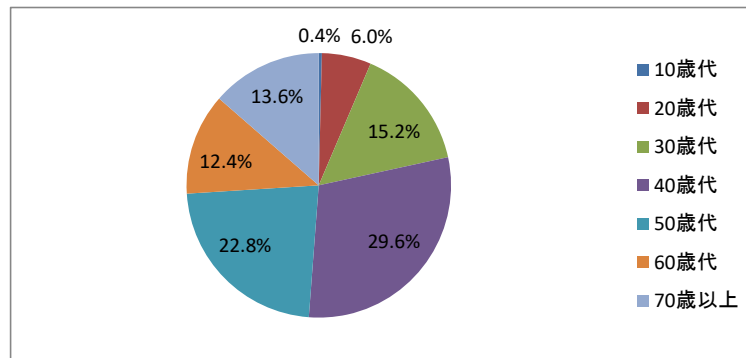
第10回 金沢の工芸に関するアンケート

【アンケート実施期間】 令和3年12月3日～令和3年12月17日

【アンケートの目的】 金沢の工芸に対する関心、使用状況等について、市民の皆様のご意見等をお聞かせいただき、今後の施策の参考とさせていただきます。

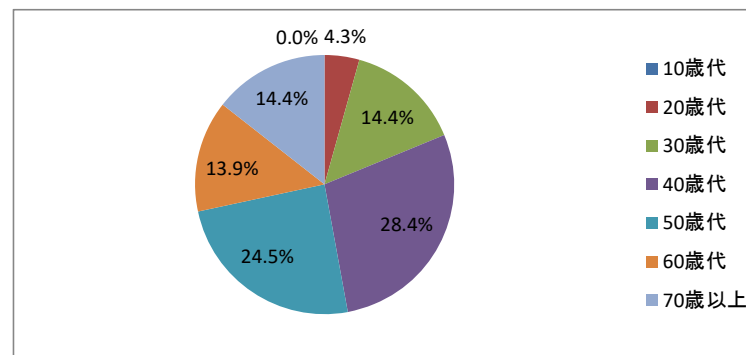
【対象者数】 250 名

内訳	人数	%
10歳代	1	0.4
20歳代	15	6.0
30歳代	38	15.2
40歳代	74	29.6
50歳代	57	22.8
60歳代	31	12.4
70歳以上	34	13.6
計	250	100.0



【回答者数】 208 名

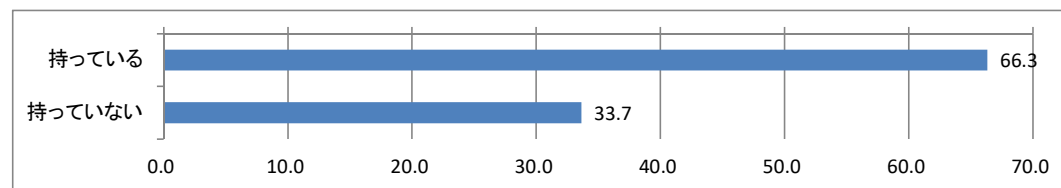
内訳	人数	%
10歳代	0	0.0
20歳代	9	4.3
30歳代	30	14.4
40歳代	59	28.4
50歳代	51	24.5
60歳代	29	13.9
70歳以上	30	14.4
計	208	100.0



【回答率】 83.2 %

問1 金沢の工芸品をお持ちですか

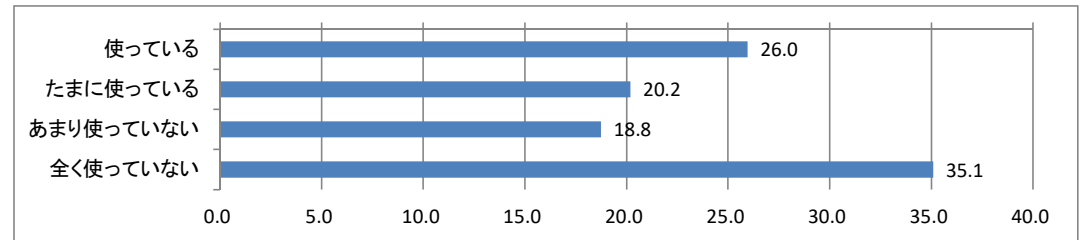
回答	人数	%
持っている	138	66.3
持っていない	70	33.7
	208	



問2 日頃から金沢の工芸品を使っていますか

回答	人数	%
使っている	54	26.0
たまに使っている	42	20.2
あまり使っていない	39	18.8
全く使っていない	73	35.1

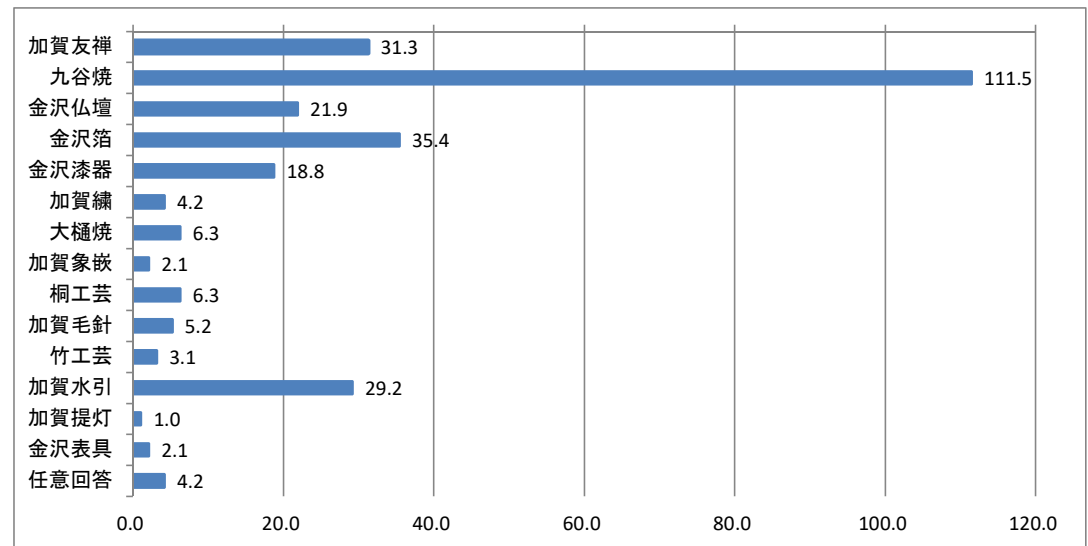
208



問3 (問2で「使っている」「たまに使っている」と答えた人) 日頃使っている金沢の工芸品はどれですか (複数選択可)

n= 96

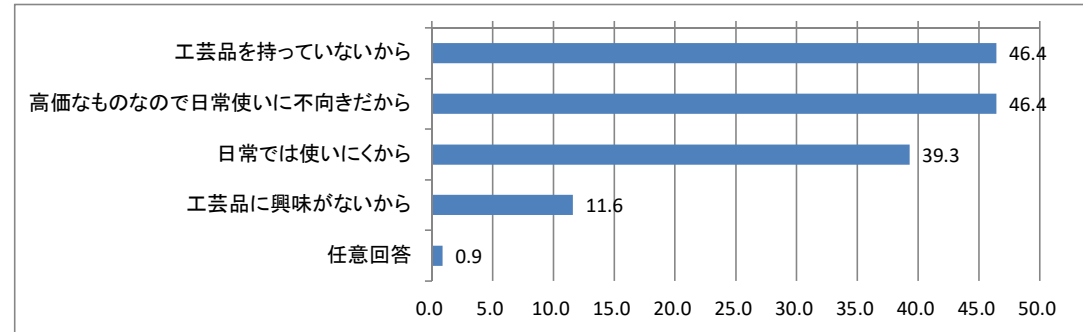
回答	人数	%
加賀友禅	30	31.3
九谷焼	107	111.5
金沢仏壇	21	21.9
金沢箔	34	35.4
金沢漆器	18	18.8
加賀繡	4	4.2
大樋焼	6	6.3
加賀象嵌	2	2.1
桐工芸	6	6.3
加賀毛針	5	5.2
竹工芸	3	3.1
加賀水引	28	29.2
加賀提灯	1	1.0
金沢表具	2	2.1
任意回答 ・輪島塗、目細針、加賀手まり 二俣和紙	4	4.2



問4 (問2で「あまり使っていない」「全く使っていない」と答えた人) 金沢の工芸品を使わない理由は何ですか (複数選択可)

n= 112

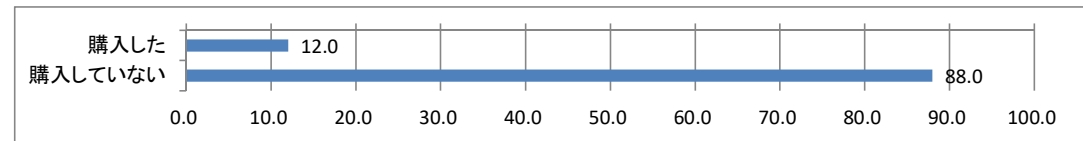
回答	人数	%
工芸品を持っていないから	52	46.4
高価なものなので日常使いに不向き	52	46.4
日常では使いにくから	44	39.3
工芸品に興味がないから	13	11.6
任意回答 ・食洗機対応でないから	1	0.9



問5 この1年間に自分用に金沢の工芸品を購入しましたか

回答	人数	%
購入した	25	12.0
購入していない	183	88.0

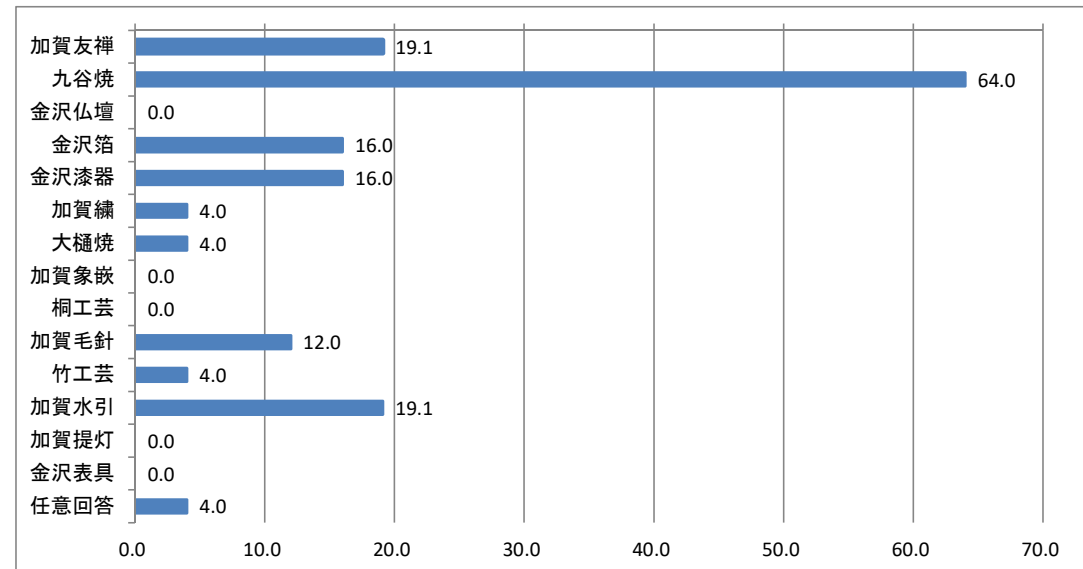
208



問6 (問5で「購入した」と答えた人) 購入した金沢の工芸品はどれですか (複数選択可)

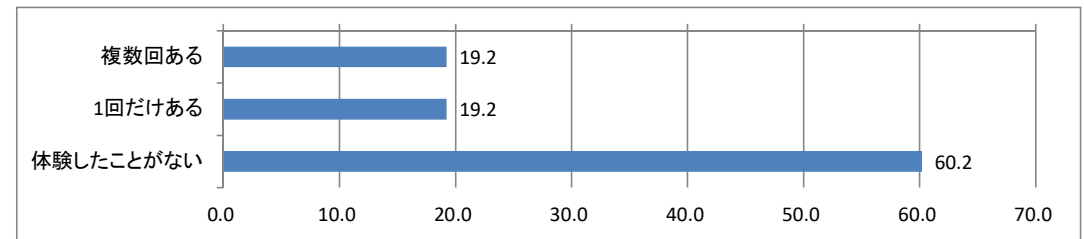
n= 25

回答	人数	%
加賀友禅	1	19.1
九谷焼	16	64.0
金沢仏壇	0	0.0
金沢箔	4	16.0
金沢漆器	4	16.0
加賀繡	1	4.0
大樋焼	1	4.0
加賀象嵌	0	0.0
桐工芸	0	0.0
加賀毛針	3	12.0
竹工芸	1	4.0
加賀水引	5	19.1
加賀提灯	0	0.0
金沢表具	0	0.0
任意回答 ・輪島塗	1	4.0



問7 金沢の工芸品を制作する体験をしたことはありますか

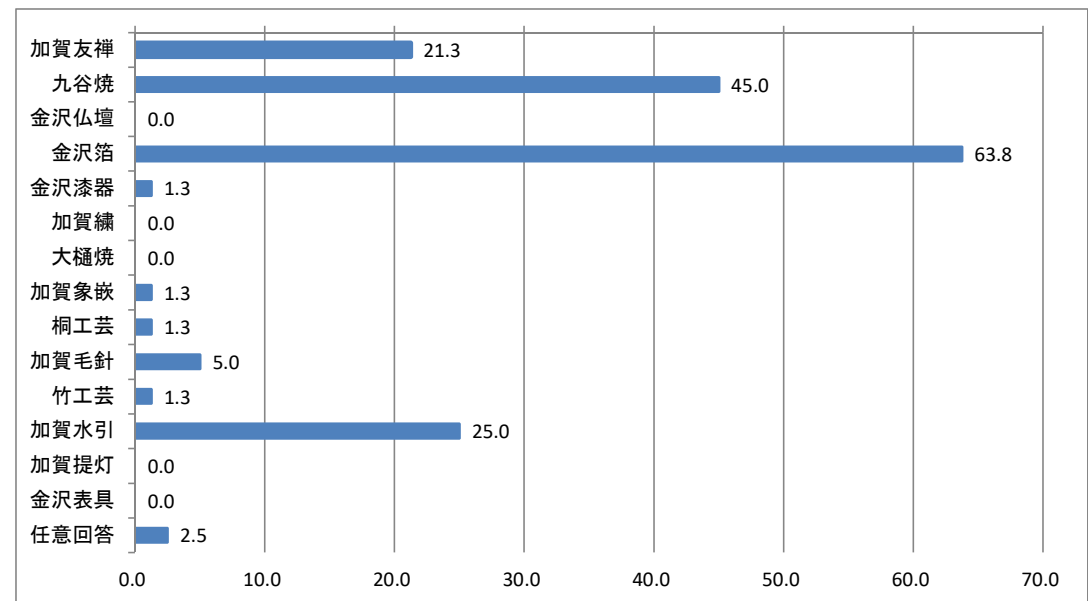
回答	人数	%
複数回ある	40	19.2
1回だけある	40	19.2
体験したことがない	128	60.2



問8 (問7で「複数回ある」「1回だけある」と答えた人) どの分野の工芸体験をしましたか (複数選択可)

n= 80

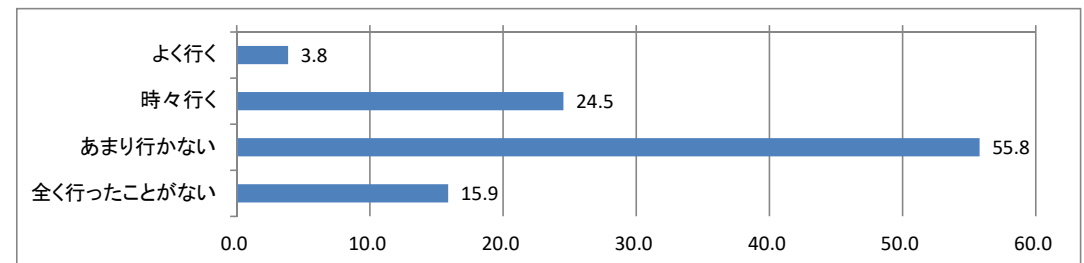
回答	人数	%
加賀友禅	17	21.3
九谷焼	36	45.0
金沢仏壇	0	0.0
金箔箔	51	63.8
金沢漆器	1	1.3
加賀繡	0	0.0
大樋焼	0	0.0
加賀象嵌	1	1.3
桐工芸	1	1.3
加賀毛針	4	5.0
竹工芸	1	1.3
加賀水引	20	25.0
加賀提灯	0	0.0
金沢表具	0	0.0
任意回答 ・ 加賀手毬、二俣和紙	2	2.5



問9 ギャラリーなど工芸品を取り扱うお店に行くことはありますか

回答	人数	%
よく行く	8	3.8
時々行く	51	24.5
あまり行かない	116	55.8
全く行ったことがない	33	15.9

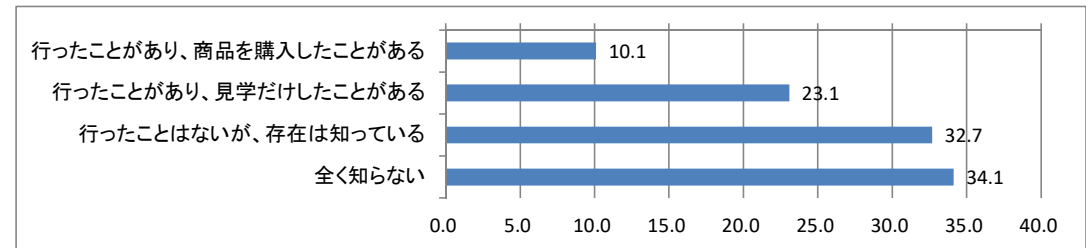
208



問10 金沢・クラフト広坂に行ったことはありますか

回答	人数	%
行ったことがあります、商品を購入した	21	10.1
行ったことがあります、見学だけした	48	23.1
行ったことはないが、存在は知って	68	32.7
全く知らない	71	34.1

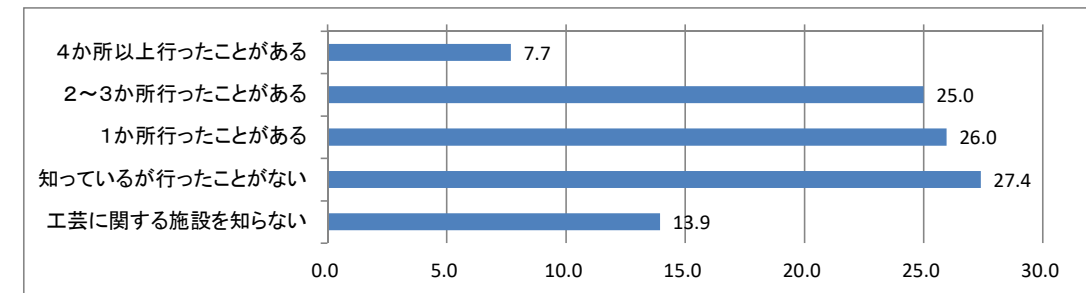
208



問11 工芸に関する施設（県立伝統産業工芸館、安江金箔工芸館、中村記念美術館、加賀友禅会館など）に行ったことはありますか

回答	人数	%
4か所以上行ったことがある	16	7.7
2～3か所行ったことがある	52	25.0
1か所行ったことがある	54	26.0
知っているが行ったことがない	57	27.4
工芸に関する施設を知らない	29	13.9

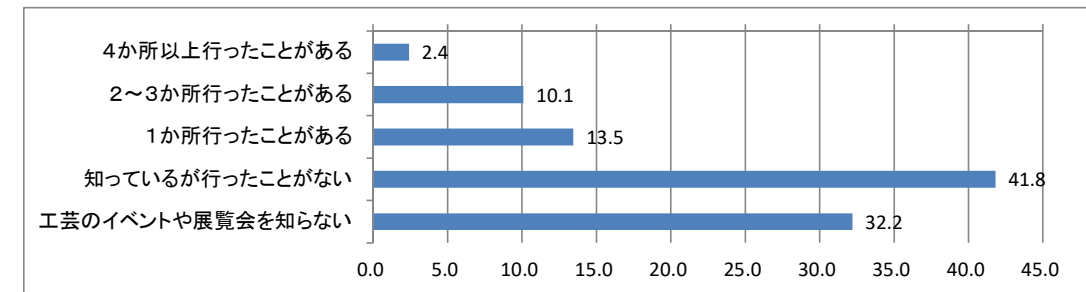
208



問12 金沢市内で開催されている工芸のイベントや展覧会（KOGEIフェスタ！、金沢21世紀工芸祭、KOGEI Art Fair Kanazawa、金沢市工芸展など）に行ったことはありますか

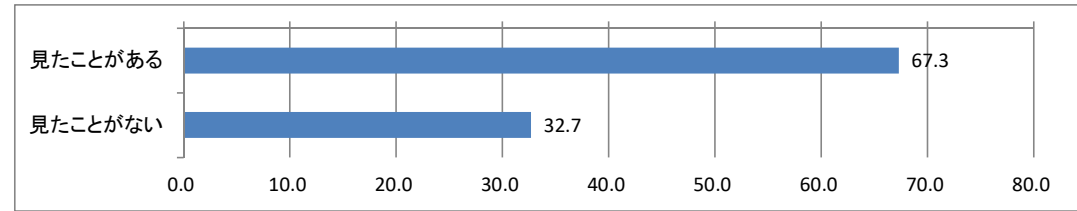
回答	人数	%
4か所以上行ったことがある	5	2.4
2～3か所行ったことがある	21	10.1
1か所行ったことがある	28	13.5
知っているが行ったことがない	87	41.8
工芸のイベントや展覧会を知らない	67	32.2

208



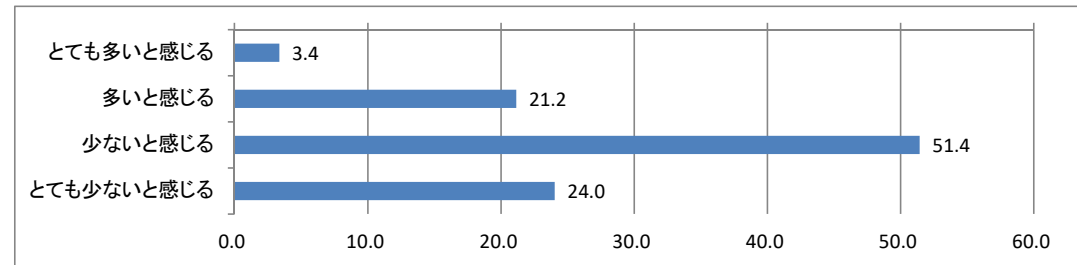
問13 金沢市内の飲食店等で金沢の工芸品が使われているところを見たことがありますか

回答	人数	%
見たことがある	140	67.3
見たことがない	68	32.7
208		



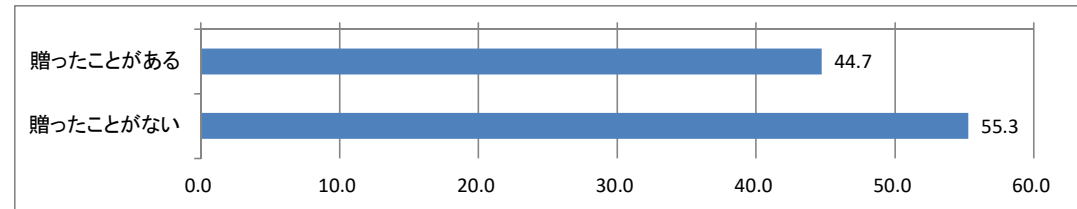
問14 子どもが工芸に触れる機会が多いと思いますか

回答	人数	%
とても多いと感じる	7	3.4
多いと感じる	44	21.2
少ないと感じる	107	51.4
とても少ないと感じる	50	24.0
208		



問15 家族や友人などのプレゼントとして工芸品を贈ったことがありますか

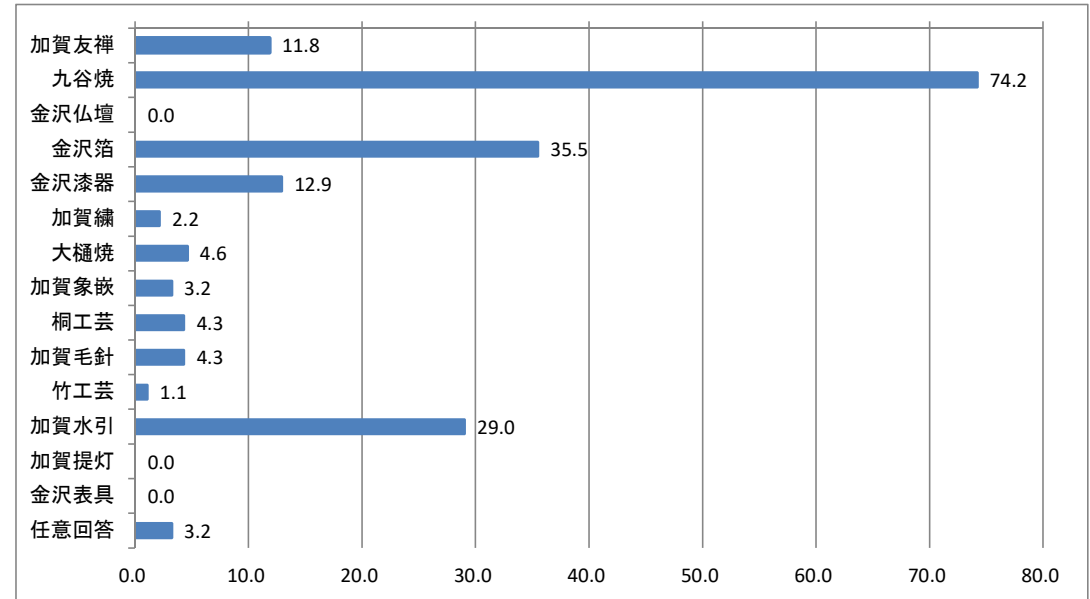
回答	人数	%
贈ったことがある	93	44.7
贈ったことがない	115	55.3
208		



問16 (問15で「贈った」と回答された方) プレゼントした工芸品はどれですか (複数選択可)

n= 93

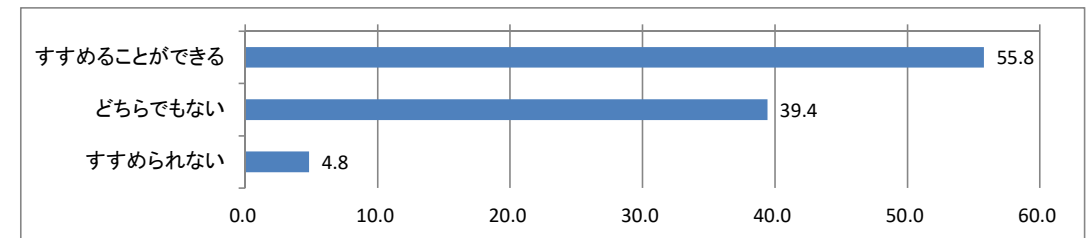
回答	人数	%
加賀友禅	11	11.8
九谷焼	69	74.2
金沢仏壇	0	0.0
金沢箔	33	35.5
金沢漆器	12	12.9
加賀繡	2	2.2
大樋焼	4	4.6
加賀象嵌	3	3.2
桐工芸	4	4.3
加賀毛針	4	4.3
竹工芸	1	1.1
加賀水引	27	29.0
加賀提灯	0	0.0
金沢表具	0	0.0
任意回答 ・ 珠洲焼き、加賀手鞠 中島めんやの人形	3	3.2



問17 市外の人に、金沢の工芸品の購入をすすめることはできますか

回答	人数	%
すすめることができる	116	55.8
どちらでもない	82	39.4
すすめられない	10	4.8

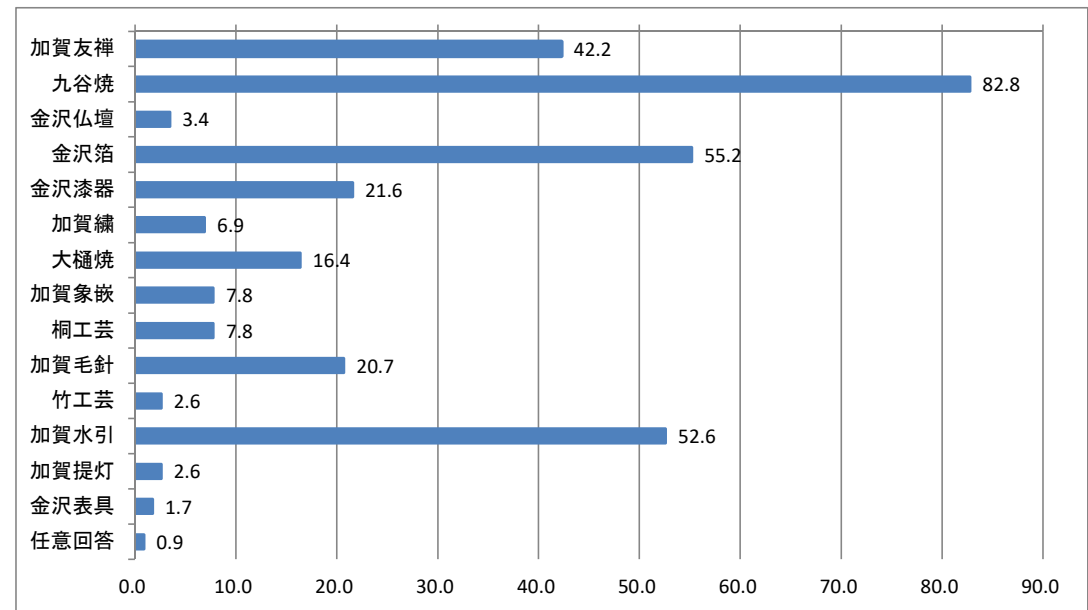
208



問18 (問17で「すすめることができる」と回答された方) 市外の人に購入をすすめたい工芸はどれですか (複数選択可)

n= 116

回答	人数	%
加賀友禅	49	42.2
九谷焼	96	82.8
金沢仏壇	4	3.4
金沢箔	64	55.2
金沢漆器	25	21.6
加賀繡	8	6.9
大樋焼	19	16.4
加賀象嵌	9	7.8
桐工芸	9	7.8
加賀毛針	24	20.7
竹工芸	3	2.6
加賀水引	61	52.6
加賀提灯	3	2.6
金沢表具	2	1.7
任意回答 ・輪島塗	1	0.9



問19 金沢の工芸について、ご意見等ありましたらご自由に記入してください

金沢工芸について子供に触れさせたいと考えていますが、公共交通機関を使わないと触れられないように感じています。もっと郊外にもそのような施設があっても良いと思う(それぞれ建物が分かれるのではなく、複合的な施設があると良いと思う)。
金沢の工芸と聞くとピンとこないが加賀友禪、金箔など工芸品を聞くと分かる。金沢の工芸という括りが必要ない様に思う。むしろ石川の工芸と言った方がわかりやすい。何でもかんでも金沢の括りは良くない。個人的にそう感じます。
もっと身近な品があれば良い。
広めて頂きたいです。
金沢の工芸品は敷居が高く普段使いに向いていないように思う。
金沢の工芸は一般的に高級に思います。身近なものとして利用する雰囲気作りが必要だと思います。
これからも、たくさん金沢の工芸と触れ合えるイベントがあるとイイな?と思います。金沢工芸は趣きや落ち着きがあって大好きです!
生活面自分の家では器(工芸品)を使って楽しむ生活ではなく、早く安く簡単においしくという生活レベル。金沢の工芸品は見て楽しむ目の保養の感覚。加賀象嵌を身に付けたりや桐の獅子を置く金銭的余裕がない。しかし、物は美術品でなく使って初めて工芸品は喜ぶのではないかと感じる。ホテルやお店でどんどん使用していくのも一案かと思う。(この欄書きにくいです)
金沢の工芸文化は世界に誇れるものだと思います。
”金沢”という事にこだわり過ぎているのもっと肩の力を抜いたネーミングの方が受け入れ易いように感じます。
金沢の工芸品は素晴らしいものばかりなのは充分承知しておりますが、工芸品の質が良い分お値段が高くて、なかなか自分用には手が出ないことが多々あるので、九谷の茶碗祭りの様な格安でお買い物ができる機会が増えて欲しいです。
高級品なイメージで価格もそこそこするので、自宅用には持てません。贈り物とかには大変喜ばれています。小中学生のうちの子供はあまり興味が無いのか、イベントがあっても行きたがらないので、なかなか身近とは言えない状況です。
どちらかと言うとお土産のイメージが強いので日常品ではなく鑑賞用になると思います。
幼稚園児以降の子供達に金沢の素晴らしい伝統工芸を広く、最っと認識出来る機会を行政がやって頂きたいです。加賀百万石の時代に数々の工芸品が職人の手で作られ、現在まで脈々と伝承されてる伝統工芸を絶やす事なく、次世代に繋ぐのが、金沢に住む私達の役割だと認識しています。グローバルの時代、インバウンドで世界から訪れた人々に加賀百万石の煌びやかな手仕事を見て頂きたいですね。今はコロナ禍ですが、いずれ終息することですので、DXといえども繊細な工芸品は無理ではと考えます。
工芸品は高価でどうしても普段使いのイメージがないが、ハードルを下げる施策(九谷茶碗祭りのようなイベントを通じて安く買える)があるとよい。
親近感があります。私の弟が金沢箔の箔打ちをしているので良く見えています。小中学校の子供達に見せる事が出来れば良いと思います。
工芸のイベントは行きたいと思っているが、いつ開催されるかわからない。金沢情報誌などのフリーペーパーに情報をのせてほしい。
工芸品作りを親子で気軽に体験できる機会があればぜひ参加してみたい。
いずれも素晴らしいものであることは理解できるが、価格面で躊躇してしまう。普及品を望みます。
普段使いできる価格のものは少ないと思います。以前テレビで見た加賀水引のピアスならと思うのですが金属アレルギーがあるのでチタンなど手頃なもので作られていたらぜひ欲しいと思います。プレゼントにもとっても喜ばれると思います。
種類が多すぎて、これによって感じが希釈されているような気がします。
ふれる機会がない。
とても美しく、ぜひ伝承していつてもらいたいものばかり。手がこんでいるから高価なものわかる。見るだけでも素晴らしい。年齢を重ねていくなおいっそう素晴らしさがわかってきた。小学校のときに体験をしたり見学に行ったが、今でも覚えている。それが大人になってどう影響するかは人それぞれだが、もっともっと小学校のころから体験や見学、ふれあいたほうがいい。
恥ずかしながら、金沢の工芸品で思い当たるのは加賀友禪と金箔、加賀毛ばりくらいで、何が工芸品なのかよくわかっていないです。
子供たちが工芸を体験できる機会は多いと思う。でも大人が体験できる機会がほとんどない。大人は親子で体験するものぐらいしかない。大人が触れ合う機会を増やしてほしい。工芸は高いものが多いのに、選び方がよくわからない。
今後も伝統工芸品を伝えていって残してほしいです。
満足しています。
加賀提灯は知らなかった。せっかく金沢に住んでいるので工芸品を知りたいと思います。
綺麗で、伝統があるだけではなく、モダンなものもあって素敵なものが多いと思います。地元にいる私ももっと工芸に触れたいと思いました。今まで以上にイベント等企画して欲しいです。
誰でもよく訪れる場所、例えば、銀行、飲食店、コンビニ、GIM、その他公共施設などに工芸品の現物展示(写真でも良い)があればいい。
高価なのでもう少し安ければ日常生活にもなじむのではないかとと思う。
市内の小中学校で加賀友禪や金箔張りを体験できたり、身近に工芸を感じる機会があると思う。家の中にもいつの間にか存在していて、身近に感じています。
興味はある方ですが、触れる機会がないのは接点が少ないからかもしれないです。観光客席向けの教室は多いかもしれませんが、地域の住民向けの機会は知らない気がします。あるのかもしれませんが。
興味がない。
工芸について学ぶ機会があればうれしいです、オンラインのセミナーなど。
金沢市民にとって敷居が高い。普段使えるものを買うことは少ない。
先に記述のとおり、子供に限らずより、より多くの市民(万人に)に対して今まで以上に金沢の工芸のすばらしさについての広報機会を増やす(行政側の)広報」「(市民に対する)実体験チャンスの付与」「(市民による)広報・意識の醸成と伝搬の行動の増加」を繰り返すことで今まで以上に「金沢の伝統工芸」が名実ともにメジャーになるとなることを期待します。
高くて自分用にはなかなか買えない。
小学生等から工芸品を使いなじむようにする事が大事なかなと思います。

工芸品は、使用するには、気を遣う。また、価格が高いイメージを持っている。
加賀友禪の着物を着ると誇らしい気持ちになる。伝統の技術は素晴らしい年数がたっても美しいです。
歴史があり、作っている方の思いも感じられる金沢の工芸品は、贈り物としても喜ばれます。大事に使うためのお手入れ法など、敷居が高く感じることもあるので、もっと身近に感じられる存在であつたらいいなと思います。

金箔のソフトクリームは、全国的に認知されていると思う。
観光客の為ではない、市民の体験講座をもっと増やしてほしいです。先日から後世に継ぐ職人に興味を持ってもらう講座がありますが、敷居が高いと感じます。工芸は名のある作家でないといけない。若い方が目指せるよう販路を開拓する補助が必要です。加賀野菜のように金沢工芸一覧のポスターがあれば観光客にもわかりやすいのではないのでしょうか。

九谷、末代まで続けて。
金沢の伝統工芸は素晴らしいのですが、使いこなす生活をしていない。
飲食店で九谷焼が使われているのをよく見ます。金沢を感じてとてもいいなあと思います。イベントなどに行かなくてもこういった場を通して観光客の人にもどんどん知ってほしいです。
素晴らしいものがたくさんあり、小さい頃から本物に触れられる機会が多いのでとても良いことだと思います。後継者を育てるためにも小学生の頃から工芸品に触れる機会をたくさん作ってあげてほしいと思います。

あまり興味が無いので特にない。
金沢の水引や、金箔は、素晴らしいと、思います。
観光用のプリントシールの九谷焼の器が多く、さびしい感じがします。売れているのだろうか。
日常的に使って手頃な物があればもっと若い人にも使ってもらえるのではないのでしょうか。
手頃な値段で日常的に使える物があれば若い人にも工芸が浸透するのではないのでしょうか。
工芸品は、普段使いしない特別な時にしか使わないイメージがある。職人が手間暇をかけて作ったものだから、値段が高く飾って遠くから眺めるもの。
必要度がないと意識しないのではないだろうか。
金沢駅に、素敵に工芸品が飾られていて、見るのが好きです。たまに行くけど展示が変わっていて楽しいです。
立派なものがあるようですが貧乏な自分には縁がありません。
工芸品は好きですが、購入できる場所に普段行かない、店を知らないことに今回のアンケートを通して気づきました。日用品の買い物はイオンやニトリなどの大型ショッピングセンターにどうしてもなるので、意識的に自分から行動しないと接点が少ないなあ、と思いました。

小学校や中学校の授業で積極的にふれあう事で、地元の工芸に興味を持ってもらい、将来的には、伝統技法を引き継ぎながら、あらたな美を創造してくれる後継者が増える事を望んでいます。
生活の中で金沢の工芸品を使う機会はなくなってきていると思います。子供世代は特に、進んで取り入れることがないように思われます。失ってしまうのは惜しい技術ですので、趣味として生涯学習の一環として取り組んでいけたらとも考えています。もう取り組んでいることと思いますが、講座を開催して頂けると、体験することによってそのモノの良さを広く身近に知る事に繋がるのではないかと思います。
観て楽しむ程度である。実用品には程遠いため、贈り物にしても使い勝手がない。観賞用のイメージである。
昨年、国立工芸館が開館したにもかかわらず、金沢工芸に関する興味や関心が深まらないことに反省しているとともに、行政には金沢市民や石川県民が伝統的な工芸品に興味をもつ取組みを期待したい。

九谷焼くらいは昔から家にあるものを使用していますが、あとはどうしても観光的なものを感じます。わざわざ買って日常使っている人は丁寧な暮らしをしているのかなあと思います。
贈り物や飾り物として購入する場合は、自分自身が日常的に使用するには扱いにくく、高価である。大衆が日用品として使用できるサブブランド品の開発・販売を希望します。
お茶道具等で工芸品をよく使用します。友人にも使っている方が多いです。ただ、決してお安いものではないので、若い世代には難しいかもしれません。それでも、子供の頃から馴染み、物を末永く大事に扱うことを思い工芸品に親しんでほしいと思います。そのためには、工芸に触れる機会を増やすことが必要に思います。製作工程等を知る機会を教育の場で増やしてほしいと考えております。

九谷焼は金沢の工芸と言えるのかちょっと疑問に思います。加賀のものではないかと。加賀水針は綺麗だし、アクセサリーとしておすすめだと思います。もっと売り込んだ方がいいかと。加賀水引も限られた用途ではなくアクセサリーとしての見直しを進めたらよいのではないのでしょうか。
加賀友禪はとても美しいので、娘達にも着物をつくってあげたいと思っている。
九谷焼は金沢の工芸ですか？ 加賀市か能美市だと思いますが…。
九谷焼は安価な物からあるので良いと思う。加賀友禪は若い観光客がよく借りて着ているので良いと思う。他の工芸も気安く触れ合う機会があれば良いと思う。
工芸の街という認識はあるが、観光ベースで日常生活にはなかなか馴染みがない。身近に使える飲食店などがあれば、その良さもわかり、使うきっかけになるかもしれない。
敷居が高すぎる。
具体的な工芸品には 余り興味がありません。
伝統工芸は受け継いでいってほしいと思う。
高価で和のイメージが強いので非日常過ぎる。かといってお土産物の安物はイヤなので日常になじむものがあるといい。
どれをとっても今の時代にはあまり興味のないものが多いのでは？我が家には先祖からの金沢仏壇があるので月に2度や報恩講や法事には欠かせないもので大事に使わせてもらっています。
作る側、売る側、買う側、使う側を結ぶ効果的な施策が必要だと思います。点→線→面のイメージが必要なのでは？
外国の人には喜んでもらえました。
日常で使えるものがあっていいと思う。(水引を使ったアクセサリーなど)
九谷茶碗まつりのような、気軽に工芸品を購入できる機会があれば、もっと購入したいと思います。
買いやすい値段の商品が欲しいです。
工芸品は高価なものというイメージがあり、普段使いにはむかぬと思います。もっと身近に使えるものになったらいいと思いますが、ならないでしょうね。いろんな工芸品をほしいとは思いますが、やはり高価です。観光客が購入するようなモノばかりというイメージです。
こどもが小学生のころ、夏休みの「まちはく」のイベントで、工芸体験作りに親子で参加したことが、今でもいい思い出です。これからも 金沢の工芸体験する機会を続けてほしいです。
日常生活で身近にある食器など手にする機会の多い九谷焼は全国に知られているので、県外の友人に勧めやすいがその他高価なものはなかなか難しいですね。

金沢の工芸は国内だけでなく、世界に誇れる高い技術力、デザイン力を持っています。後継者不足の分野もありますが、新進の作家の育成等、SDGsの一環としてもより一層のサポートが必要かと思っています。

日常使い出来る安い価格で販売して下さい。昔ながらの古典デザインも良いが若いクリエイターの作品も見たいし価格によるが利用して見たいです。小 中学校の給食食器などに工芸品を使用してはどうですか？ 子供によっては興味を持ち工芸品業界に進む方もおられるかも知れません。小中学生の社会見学の実施工場 職人 販売営業など工芸品に関する全ての工程を社会科見学されてはどうか。どんなに素晴らしい作品があっても営業力がなければ生活出来ませんからね。

身近なものではないし、値段も高いので普段使いもできない。けど、見るときれいだし素敵だなと思う。気軽に身近に感じられたらいいなとは思いますが、どこでどのように？と思うと難しいです。学校や職場にあればまた違うかなと思う。

今回、初めて金沢の工芸品があることを知った。住んでいる者より、観光客の方が詳しいかもしれないと思った。

着物も大変興味深いです。高価な物なので節目、節目で使用する事が出来ればよいです。工芸品は贈答用のイメージがありますが、安価な物が増えれば自宅にも増えると思います。

高そうなイメージがあるのであまり興味がありませんが、求めやすい価格のものがあるのならばそういう情報をSNSなどで手軽にみれる媒体で発信してほしいです。

コロナ感染症禍外出する事が少ない中機会があれば務めて金沢工芸を拝見し自身のたしなみの一つとしてたく望んでいます。

加賀友禅や丸谷焼などは有名なので知っていますが、まだまだ知らない工芸品があるようです。観光に来た友人に教えてもらったりすることも。芸術にうとい私のような者が、より詳しく金沢の工芸について知ったり、学んだりするきっかけがもっとあれば、と、思います。なかなかイベントに出かけることができないので、日ごろ目にする新聞、ローカル番組、フリーペーパーなどでも情報が得られたら、もっと気軽に金沢の工芸について学べそうですね。

気軽に購入できるような価格帯のものもあればもう少し広まりやすいと思います。

工芸に気軽に触れ合える街だとも思います。

しいのき迎賓館など、イベントの体験できるコーナーが好きです。

工芸品というだけなら他の地域にも似たものはある。「金沢の」という枕詞をつけるなら、それ相応の付加価値がほしい。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。